



緋紅草(ルコウソウ) 花言葉：常に愛らしい

四万十川ニュース

Vol.104

中村河川国道事務所 平成27年9月24日

「親子水難事故防止教室」開催

8月23日(日)、四万十市百笑地区の河原で、小学生とその保護者約20名が参加し「親子水難事故防止教室」が開催されました。この教室は、渡川水系(四万十川)水難事故等防止連絡会と「四万十川水中探偵団」(四万十川流域住民ネットワーク)が連携し平成22年から開催しており、今年で6年目となります。

小学生には、川で遊ぶ楽しさを体験してもらいながら、川の特性や危険を察知する能力、感覚を身につけてもらうことを目的に、カヌーやシュノーケリング教室といった川遊びに加え、着衣水泳や*スローバック投げなどを体験していただきました。

また、保護者の方には、AEDを使った救命の実演や救命訓練を実施し、参加者から熱心な質問が多数あがりました。

さらに漂流時の行動などの説明と併せて実施した、消防ヘリによる漂流者等の救助訓練の実演を間近で見て、参加者からは大きな歓声が上がっていました。



シュノーケリング教室



救命訓練



スローバック投げ実演



ヘリを使った救助実演

*スローバック:メッシュ状のバックの中に、水に浮くロープが収納されている救助道具

防災パネル展 (アピアさつき)



パネル展の様子

南海トラフ巨大地震に向けたさまざまな取り組みがなされている中、防災週間(8月30日~9月5日)にあわせて防災パネル展をアピアさつきで開催しました。

昭和南海地震での被災状況や四万十川における過去の水害及び近年の代表的な洪水状況写真を展示するとともに、防災・減災への取り組みとして、東日本大震災における被災写真、南海トラフ巨大地震に関する情報パネルなど約300枚を展示しました。

また、四万十市商業協同組合の協力により防災グッズの展示も行いました。

これからも防災情報を発信し、住民の皆様と一丸となって防災・減災に取り組んでいきたいと思っております。

相ノ沢川総合内水対策協議会「合同現地調査」

平成27年9月4日(金)相ノ沢川総合内水対策協議会「合同現地調査」を実施しました。この協議会は、平成26年6月に発生した相ノ沢川及び楠島川流域(高知県四万十市)の内水氾濫による浸水被害を受けて設立されたもので、今回は、行政関係者のほかアドバイザーとして学識者にも同行頂き、現地調査を実施しました。

当日は、相ノ沢川や昨年度浸水被害が発生した箇所など9箇所を調査し、改めて各所の現地状況を把握することが出来ました。

アドバイザーの先生からは「河道整備だけでなく流域全体での対策が重要」、「どこまで被害を抑えるのかという目標設定が重要」、「内水センサー等の情報発信のソフト対策を」等、貴重なご意見を頂きました。

本協議会では、今回の現地調査の結果を踏まえて、総合内水対策の検討を進めていきます。



現地調査状況



現地調査状況

四万十川に関するお気付きの点や、お問い合わせは中村河川国道事務所 計画課までお願いします。

TEL0880-34-7301

「四万十川ニュース」は、中村河川国道事務所HPにも掲載しています。

<http://www.skr.mlit.go.jp/nakamura/index.html>

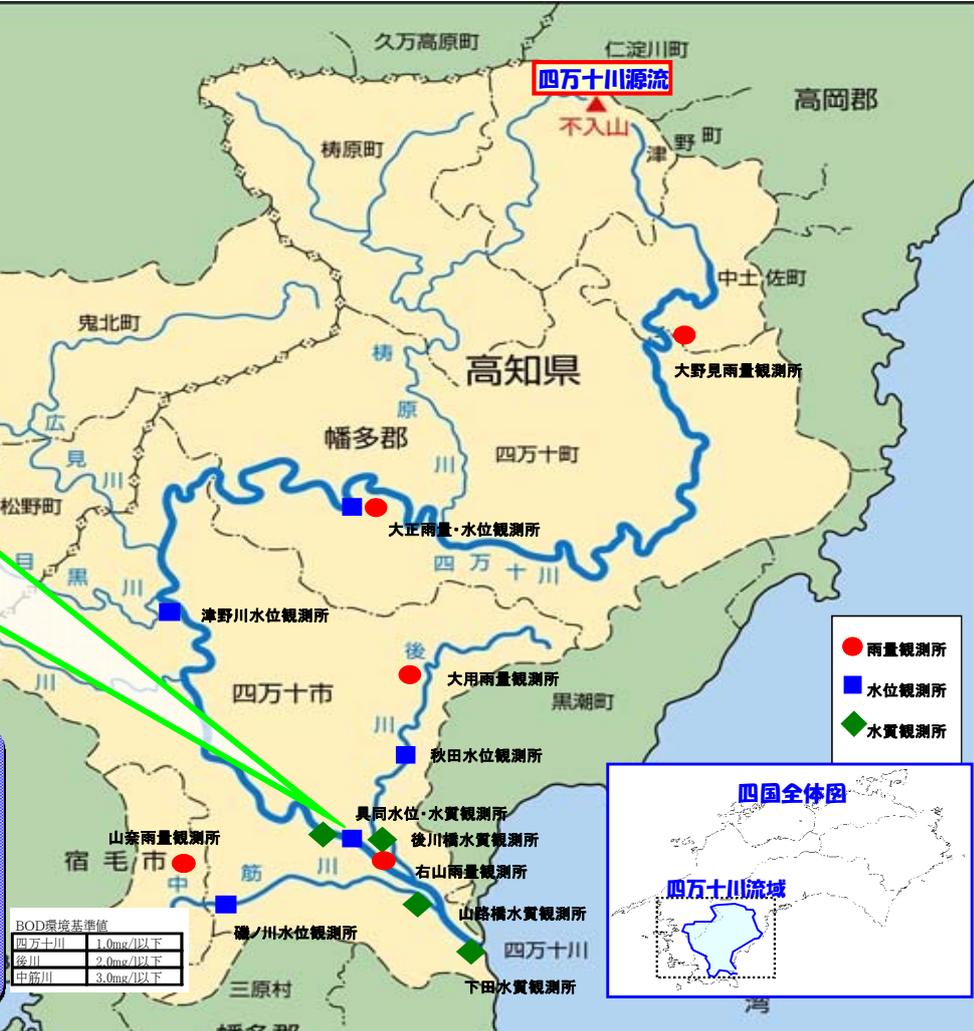
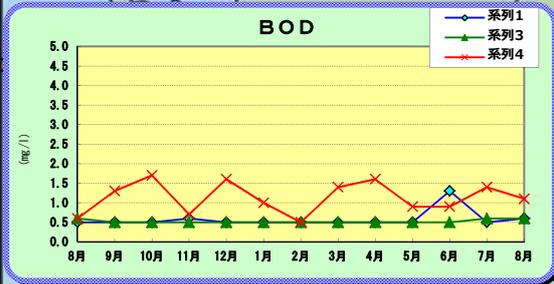
8月の四万十川の様子

四万十川の水質

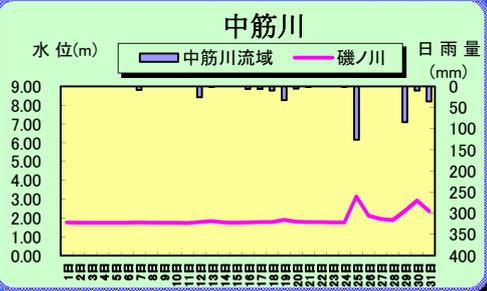
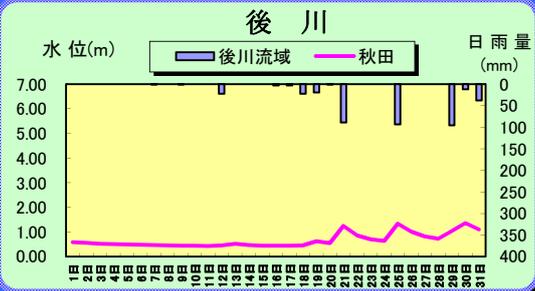
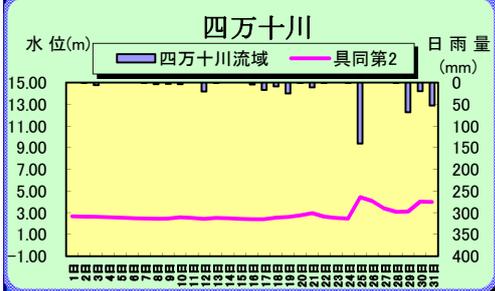
具同観測所
(8月12日測定)

水温 27.9℃
 pH 7.4
 BOD 0.6mg/l
 SS 2mg/l
 DO 7.2mg/l
 大腸菌群数 523MPN/100ml
 流量(日平均) 28m³/s

※測定値は全て速報値です



雨量・水位データ



流域平均雨量(8月)



8月の四万十川流域平均雨量387mmは平年並みの雨量です。
 なお、過去10年間の平均雨量は384mmです。
 ※四万十川流域平均雨量について、四万十川流域の雨量観測所(18箇所)が流域に占める支配面積の比率により算出した雨量です。
 ※測定値は全て速報値です。

四万十川の水位・雨量について

- ・水位・雨量情報電話サービス (0880-34-7321:3回線)
- ・PCサイト「川の防災情報」 <http://www.river.go.jp/>
- ・携帯サイト「川の防災情報」 <http://i.river.go.jp>

